

# 風立ちぬ

庄内町立立川中学校  
学校便り  
2016.11.18

風の街の中学校の窓から

文責：校長 佐藤 真哉

## 会場がとよめいた**庄内町合唱祭!**

11月13日に庄内町文化創造館「響ホール」で『第6回庄内町合唱祭』が開催されました。本校から「立川中学校有志合唱団」として76名（3年51名、2年19名、1年6名）が出演しました。きっかけは、1学期に音楽科の五十嵐先生から参加したいとの相談があり、教育委員会・芸術文化協会と連絡を取り合い出演することができました。

当日は、10時25分に音楽室に集合しました。そこで発声及び練習を行いました。五十嵐先生から「よく声が出ている。OK!」と評価していただきました。11時にスクールバスに乗り会場に向かいました。車内は、とてもリラックスした様子でした。予定より早くステージリハーサルを行いました。緊張しながら大きなホールの響きを感じながら練習することができました。12時に昼食を食べ、**（食後、生徒が進んで椅子やテーブルの移動をしてくれました。感激!）**1時30分の開演を待ちました。

1時50分いよいよ本番です。76名が登壇し、代表の長澤広喜くんが堂々と曲の紹介をしてくれました。最初の曲は、「立川中学校校歌」指揮長澤広喜くん、伴奏折居優さん。次の曲は、「最上川舟唄」指揮長永佳汰くん。最後の曲は、「ふるさと」指揮日向実優さん。ドキドキしながら聴いていました。演奏途中、**会場から「ん〜!」「おお〜!」「素晴らしい!」等のどよめきが聞こえてきました。**私は感動して鳥肌が立っていました。歌い終えた後、**観客も感動して「ブラボー」と言って拍手が鳴り止みませんでした。**たくさんの保護者からも聴いていただき、「素晴らしいかったの〜!」「うまいけの〜!」と声をかけていただきました。

出演してくれた76名の生徒の皆さん、**素晴らしい演奏をありがとうございました。**毎日の授業で創り上げてきた力を町民の前で見事に発表してくれました。また出演させていただいた保護者の皆様のご理解と協力に心より感謝申し上げます。「立中伝統の合唱」を来年に繋いでいきたいと思います。

↓ 発声及び練習



↓ バス移動



↓ 立川中学校校歌



↓ 最上川舟唄



↓ ふるさと



↓ 演奏後ミーティング（拍手）



### 【 庄内町合唱祭参加によせて 】

五十嵐 久先生（音楽科）

今年は実行委員会から日程を調整していただき、念願だった参加が実現できました。実行委員会のご配慮に感謝しています。

参加するに当たって1番思ったのは、3年生のみの参加では学校の伝統作りにはならないということです。翌年に繋ぐには、1・2年生も出来るだけたくさん参加すること考え、何回も募集を延ばしながら働きかけ、最終的には1・2年生で25名の参加を得ることが出来ました。特に、当日の練習を休みにしてくれたり運動部の顧問の先生方の協力が大きかったです。頭の下がる思いでした。これでようやく立中の合唱文化の伝統継承という大きな課題実現の土台が出来ました。次は生徒の演奏レベルが、客席を納得させられる演奏になるかというプレッシャーですが、ここまで来ると演奏は、参加者全員がしっかり歌えれば充分いい演奏になるという実感が持てるようになってきたことは事実です。当日最も自信を持って歌える条件整備は、会場のイメージ化、時間の流れ、客席の状況、（自分の座る位置）、ステージまでの動線と立ち位置、ステージの形状などをきちんと伝え、極力不安を取り除き自信を持たせることでした。その結果かなり凝った参加要項になりましたが、当日の朝は遅刻もなく集合完了。声出しの発声は午前にかかわらずすごいパワー。ここで今日の演奏の成功を確信しました。

週1・2回10分程度の練習しか出来ない条件の下、ようやくここまで来たという印象でしたが、おかげさまで聞いていただいた多くの方々から称賛の声をいただき、生徒と一緒に喜んでます。やはり中学生の秘めた底知れない能力に改めて感動させられた1日でした。



立川中生には、無限の可能性がある!

